

C I S S 日本語版（略称：シーアイエスエス）

（金子書房）

Coping Inventory for Stressful Situations.

<p>テストの標的</p>	<p>ストレスへの対処の仕方を評価する質問紙法の「ストレス状況対処行動尺度」です。本検査はストレス状況下で個人がどのような対処行動を多く用いているかが把握できます。一つの対処スタイルへの依存を減らし、他の対処方略の頻度を増やすなどストレス対処行動の立て直しに役立てることが出来ます。5尺度（基本尺度3／下位尺度2）から把握することが出来ます。</p>				
<p>用紙・用具</p>	<table border="0"> <tr> <td>用紙（30名分）</td> <td>7,500円</td> </tr> <tr> <td>マニュアル</td> <td>6,000円</td> </tr> </table>	用紙（30名分）	7,500円	マニュアル	6,000円
用紙（30名分）	7,500円				
マニュアル	6,000円				
<p>適用年齢</p>	<p>18歳以上</p>				
<p>実施時間</p>	<p>10分</p>				
<p>尺度構成</p>	<p>T「課題優先対処」(Task) 課題や問題を解決しようとしします。「状況を掌握する」「優先順位をつける」等16項目あります。</p> <p>E「情動優先対処」(Emotion) 自己志向の情動的反応を示します。「ひどく動揺する」「腹を立てる」等、16項目あります。</p> <p>A「回避優先対処」(Avoidance) ストレス状況の回避を目指した行動や認知の変化を起こします。「良かった頃のことを考える」「散歩に出かける」等16項目。</p> <p>D「気分転換」(Distraction) 回避優先対処の下位尺度。「何か買い物をする」「寝ようとする」等8項目。</p> <p>S「対人的な気晴らし」(Social Diversion) 回避優先対処の下位尺度。「友達に電話する」「特別な人と一緒に過ごす」等5項目。</p>				
<p>その他</p>					